

57. Scope of Claim

This utility model relates to a thread hook drum, which comprises a circular disk having a protrusion along an outer peripheral surface thereof for guiding a thread, a notch provided penetrating through the protrusion, through holes provided in the circular disk, locking protrusions integrally provided on a fringe of the through holes such that one end of each of the locking protrusions faces each through hole, V-shaped grooves provided at both sides of the locking protrusions on the circular disk such that the V-shaped grooves communicate with the through holes, and guide pins disposed at a position between the locking protrusions and the notch on the circular disk.



(4,000円)

# 実用新案登録願6

昭和54年7月31日

特許庁長官 川 原 能 雄 殿

1. 考 案 の 名 称 糸掛けドラム

2. 考 案 者

住 所 東京都港区港南1丁目7番4号  
氏 名 ソニー株式会社 芝浦工場内  
安 田 知 彦

3. 実用新案登録出願人

住 所 東京都品川区北品川6丁目7番35号  
氏 名 (218) ソニー株式会社  
(名 称) 代表者 岩 間 和 夫

4. 代 理 人

〒105  
住 所 東京都港区虎ノ門二丁目6番4号  
第11森ビル11階 TEL(508)8266(代)  
氏 名 (6773) 弁理士 小 池 晃

5. 添付書類の目録

|           |     |
|-----------|-----|
| (1) 明 細 書 | 1 通 |
| (2) 図 面   | 1 通 |
| (3) 願書副本  | 1 通 |
| (4) 委 任 状 | 1 通 |

54 105553



方 式 査 査



## 明 細 書

### 1. 考案の名称

糸掛けドラム

### 2. 実用新案登録請求の範囲

周面に糸をガイドする突起をもつた円板と、上記突起の内外を貫通する切欠と、上記円板に設けられた透孔と、この透孔周辺に一部がその透孔にのぞむ如く一体的に設けられた係止突起と、この係止突起の側部の円板に上記透孔に連通する如く設けられたV字溝と、上記係止突起および切欠間の上記円板上に配設されたガイドピンとを備えてなる糸掛けドラム。

### 3. 考案の詳細な説明

本考案はラジオの糸掛けドラムにかかり、特に、これに糸を簡単に緊張して係止する様にしたものに関する。

従来から一般に知られているラジオの糸掛けドラムでは、これに掛けられる糸を緊張して保持するために、その糸にスプリングの一端を係止し、そのスプリングの他端を糸掛けドラムの

所定部位に係止する如くしていた。このためスプリングと上記糸および糸掛けドラムとの係止作業が極めて面倒となり、スプリングの使用とも合俟つてコストアップを来たしていた。

本考案はこの様な従来の糸掛けドラムの問題点を改善するために成したものであり、特に、糸の始端と終端とをそれぞれ各別のV字溝に緊張させながら案内して係合保持せしめる如くなし、上記糸を使用状態にて常時緊張させ、ダイアル操作に対応した正しい周波数表示を行える如く成した新規な糸掛けドラムを提供するものである。

以下に、本考案の一実施例を図面について述べる。

第1図および第2図は本考案にかかる糸掛けドラムのそれぞれ斜視図および平面図である。図において、1は潤滑性の合成樹脂にて一体形成されたドラムで、周縁に環状の突起2が設けられ、この突起2の周面に糸のガイド面3が設けられている。なお、このガイド面3の両端縁

には糸の脱落を防止する突起縁 4 が第 3 図に示す如く設けられている。5 は突起 2 の内外部を連通する如く、該突起 2 に設けられた切欠であり、これに糸が挿通される如くなっている。6, 7 は突起 2 によつて囲まれた円板 8 に穿設された対称形の透孔であり、この透孔 6, 7 周辺の円板 8 上には一部が上記透孔 6, 7 にのぞむ如く係止突起 9, 10 が一体的に設けられている。これらの係止突起 9, 10 は第 3 図および第 4 図の断面図で見る如く、各透孔 6, 7 にのぞむ部分が円板 8 の厚み内に至る厚さを有し、その下面の左右の角部が略  $90^{\circ}$  に鋭く立ち上がっている。また、この係止突起 9, 10 両側の円板 8 には、上記透孔 6, 7 に連通する V 字溝 11, 12 がそれぞれ設けられている。13, 14 は上記透孔 6 と切欠 5 との間および上記透孔 7 と切欠 5 との間の円板 8 上に起立されたそれぞれ 3 個ずつのガイドピンであり、15 は円板 8 をバリコン軸等に取り付けるための取付孔である。

次に、かかる糸掛けドラムに糸を掛けるには、

先ず、糸 1 6 の一端 16b に結び目 16a を 1 個作り、その結び目 16a を第 4 図に示す如く係止突起 9 の左側の V 字溝 1 1 に引つ掛ける様に、円板 8 の上面から突起 9 の下面に糸 1 6 をくぐらせる。そしてそのくぐらせた糸 1 6 を係止突起 9 の右側の V 字溝 1 1 から円板 8 上に引き出し、2 個のガイドピン 1 3 を第 2 図に示す如くガイドさせて、さらに切欠 5 から突起 2 のガイド面 3 に至らしめる。このように導出された糸 1 6 は上記ガイド面 3 に沿つて、複数のラジオ内のガイドローラ、ダイヤル摘みの操作ドラム等を経て再びドラム 1 に至る。このようにドラム 1 に戻つて来た糸 1 6 の他端 16c は、上記ガイド面 3 に沿つてそのまままたは 1 巻回されて上記切欠 5 から円板 8 上にガイドし、上記ガイドピン 1 4 を縫う様にガイドして、上記係止突起 10 の左側の V 字溝 1 2 に挿し入れる。さらに、糸 1 6 はその係止突起 1 0 の下面をくぐり、その係止突起 1 0 の右側の V 字溝 1 2 から円板 8 の上部にガイドする。このときその糸 1 6 の他端

16c を常に緊張させ、かつ上記 V 字溝 1 2 に喰い込む様に引き込む。これにより上記他端 16c はその V 字溝 1 2 に強制的に挾持されて、その自由な脱抜が規制される。また、このような糸 1 6 の引き回しおよび引き込み操作はその糸に対し常時一定のテンションを付与しながら実施する。これにより、上記糸 1 6 は常に一定の緊張状態を保つ。かくして、張設された糸 1 6 のダイヤル表示部にはダイヤル指針が取り付けられ、安定かつ高精度にダイヤル表示を行うことができる。また、上記ドラム 1 に対する糸 1 6 の掛止め作業は従来の様にスプリングなど余分の部品を用いないので、簡単且つローコストに行える。

以上、述べた様に、本考案は周面に糸をガイドする突起をもつた円板と、上記突起の内外を貫通する切欠と、上記円板に設けられた透孔と、この透孔周辺に一部がその透孔にのぞむ如く一体的に設けられた係止突起と、この係止突起の側部の円板に上記透孔に連通する如く設けられ

たV字溝と、上記係止突起および切欠間の上記円板上に配設されたガイドピンとを備えたことにより、ドラムに対する糸掛け作業が簡単に行えらるとともに、糸掛け後の糸が容易に緩む必配がないので、常に安定したダイアル表示が行えるという利点がある。また、糸掛けのためにスプリング等の他の部品を用いないので、その構成が安価となり実用上頗る有益となる。

#### 4. 図面の簡単な説明

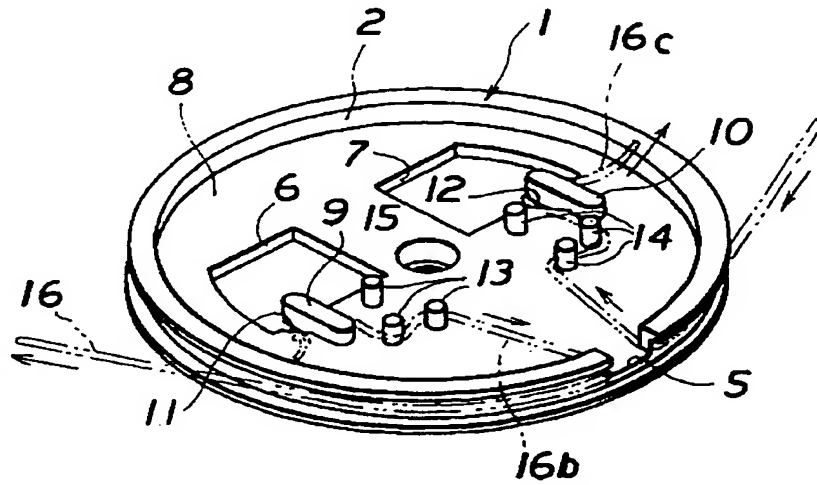
図は本考案にかかる糸掛けドラムの一実施例を示し、第1図はその糸掛けドラムの斜視図、第2図は同じく平面図、第3図は第2図のA—A線における断面図、第4図は第2図のB—B線における断面図である。

1…ドラム、2…突起、3…ガイド面、5…切欠、6, 7…透孔、8…円板、9, 10…係止突起、11, 12…V字溝、13, 14…ガイドピン。

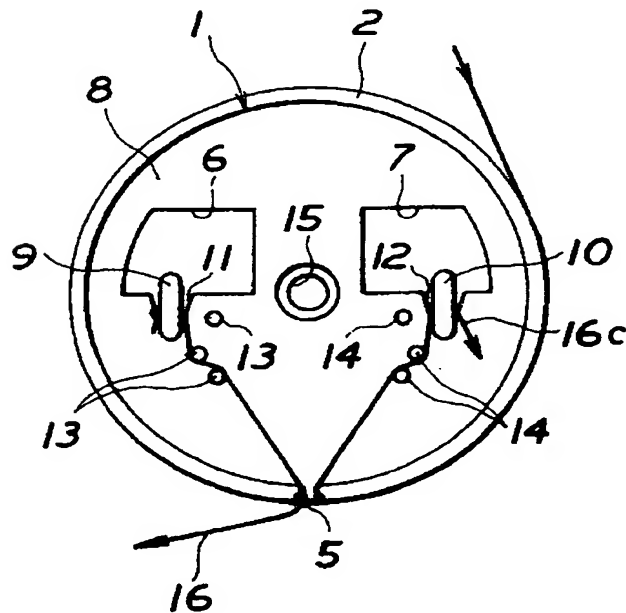
実用新案登録出願人      ソニー株式会社  
代 理 人   弁 理 士      小 池      晃



# 第 1 圖

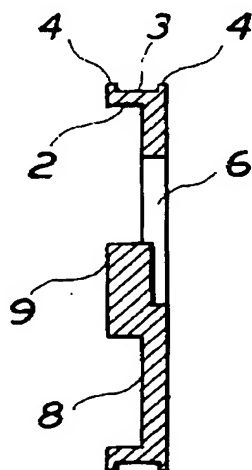


# 第 2 圖

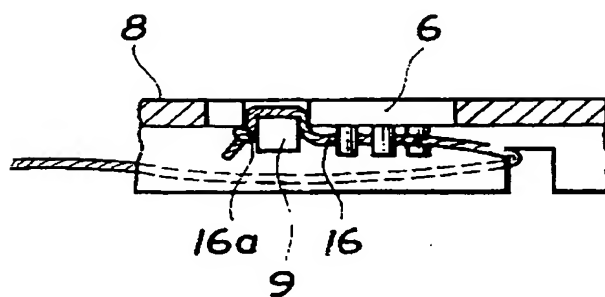


22829 1/2

第 3 図



第 4 図



実用新案登録出願人 ソニー株式会社

代理人 井理士 小 池 晃